

子どもの人権は世界的にも大きな問題です。日本においても、子どもの人権を無視した事件が起きると、心が痛み非常に悲し気持ちになります。また貧困問題も深刻で、格差社会の影響は子どもの教育や育成に影響を及ぼしています。子どもたちは未来の希望であり将来の日本を支える宝です。教育は平等に与えられるべきであり、栄養のある食事をしっかり取れる環境が必要です。新型コロナの影響で更に困窮している子育て家庭も多くなっています。困っている人に何ができるのか？ご自分の人権意識を確認することも一年の締め括りとして必要です。それができるのも人権感覚と言えます。



「やまなし子ども条例」の制定に向けて

「子どもの権利」明記の県条例案、素案まとまる

山梨県議会は、今年5月に超党派で「やまなし子どもを守る条例案作成委員会」(永井学委員長)を立ち上げ、「子どもの権利」を明記した「やまなし子ども条例」を制定する準備を進めています。今月15日には条例案の素案が示されました。今後、県との調整やパブリックコメント(意見公募)を実施した後、来年2月の定例県議会での議案提出をめざしています。

子どもに関する県条例には、議員提案で2017年に制定された「やまなし子ども・子育て支援条例」がありますが、「子どもの権利」という言葉や考え方は盛り込まれていませんでした。今回の条例案の前文では「子どもの権利は、子どもが成長するために欠くことのできない大切なもの」と述べ、憲法や「子どもの権利条約」の理念を踏まえて条例を制定することを明記しています。

さらに、【基本的施策】の案としては「子どもの社会参加を促進する仕組みを整備する」「子どもの権利を含む人権教育の充実に努める」など盛り込まれました。また、【子どもの権利侵害の救済】では、県が学識経験者らで構成する「県子ども支援委員会」を設置し、子どもがいじめや体罰、虐待などで人権を侵害された場合、当委員会に救済を申し出ることができる仕組みを作る、とのことです。

県によるこうした救済制度ができると、先月号で触れた北杜市内の小中学校「いじめ」事件のように、地元の学校や教育委員会等が子どもの人権侵害にまともに対処してくれない場合にも、子どもや保護者を守る有力な後ろ盾となり得る可能性があります。ぜひとも、中立公正な立場で子どもの権利擁護に誠心誠意尽くして下さる、人格高潔で高い専門性を有する委員の人選を要望したいと思います。

“生まれた家”の違いによる教育格差を無くすために

すべての子どもには、あらゆる差別なく公平に教育を受ける権利があります。生活困窮している家庭に生まれた子どもが十分な教育を受けられず、その結果、一生を通じて貧しく苦しい生活を強いられるようなことは、決して望ましくありません。

ちなみに、日本財団等が2015年に発表した『子どもの貧困の社会的損失推計』では、我が国の子どもの貧困課題を放置すると、現在15歳の子ども1学年だけでも、社会が被る経済的損失は約2.9兆円に達し、政府の財政負担は1.1兆円増加することが明らかになりました。

我が国はOECD加盟国の中で、高等教育費の家計負担が最も重い国の一つです。こうしたことが、生まれた家の貧富の違いが、大学や専門学校等に入れるか否か、入れても無理なアルバイトをせずに学べるか否か、等に大きく影響を及ぼしています。その意味でも、山梨県が作ろうとしている子ども条例に「子どもの教育格差を無くすために最善を尽くす」という趣旨の条文をぜひ入れてもらいたいと思います。

活動報告

人権啓発パネル展 12月2日(木)~12月15日(水)、甲府市北公民館、甲府市南公民館において、「命のメッセージ展」と題して人権啓発パネル展を開催しました。



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

協賛企業：(株)成心設備、西関東開発(株)、(株)ウィルマート、(株)R&C、(株)フジコー、(株)渡辺工業所、甲府市管工事協同組合

<協賛>
山梨県
甲府市
甲斐市

国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチだより (2021年12月号)

甲斐市立玉幡中学校 (女子)

()組()番氏名()

☆ 今日の講話をきいて感じたことをかいてみよう!

私自身「人権」という言葉は知っていたけれど、どの
ふうなことでいいのかは知りませんでした。初めに、人
間誰に聞いても皆、2つのお願いがある、と聞か
れました。それは「死にたい」と「幸せになりたい」
です。私も同じふうには聞かれました。そのふうには答えると思
います。死にたいと見つけた時にとっても驚いたのは、
日本はこんなふうにも平和なんだよという事なんです。いつも
当たり前前に過ごしている毎日も、美味しく飲んでいる
水も本当は、とても特別で幸せな事なんだなあ
と思います。また、他の国では、いろんな人種が
理不尽に殺され、道端に倒れている人がいると
いう事を知って、少しでも世界が平和になればいいな
と思います。だからどこの国でも平和になれば、幸せにな
れるというの簡単です。私達1人1人が少しでも相手の
事を想って、人助けを今日からしていきたいです。
今日は本当に貴重な経験ができました。

甲斐市立玉幡中学校 (女子)

()組()番氏名()

☆ 今日の講話をきいて感じたことをかいてみよう!

私は今日の人権講話を聞いて、人権の意味が
分かっていなかったけど命と幸せということと
知り人権は簡単にいうと分かりやすいことだ
と感じました。また、杉藤さんの話をきいて
ふたつできないことでもおもいきりしてはあ
かしくてもいろんな人に優しくしていきたいと
思いました。DVDを観て私は、世界で
は、こんなにも苦しんでいる人、戦争がおき
て大変なところがあると知りました。そして、その
被害にあつた人を助ける活動をしているグル
ープがあることを初めて知りました。私は、いま
まで、あたりまえのように生きていたけど、この
生活には、いろんな人の優しさがたくさん詰ま
っていると講話をきいて感じました。これからは、
今まで以上に人に優しく接していきたいと
思いました。

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。